

# 予 算 要 求 資 料

令和 4 度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産研究費

## 事業名 **新** 畜産研究所防疫体制整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

畜産研究所 電話番号：0577-68-2226

E-mail：[c24509@pref.gifu.lg.jp](mailto:c24509@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 7,106 千円（前年度予算額：0 千円）

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	7,106	0	0	0	0	0	0	0	7,106
決定額	7,100	0	0	0	0	0	0	0	7,100

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・「家畜伝染病予防法」が令和 2 年 4 月に改正され、新しい「飼養衛生管理基準」（以下、「新基準」という。）が令和 2 年 10 月 1 日から施行された。
- ・新基準では 16 項目が新規追加・強化された。このうち 14 項目はソフト整備により対応を実施しているが、残りの 2 項目についてはソフト整備だけでは十分でない状況にある。
- ・そのため該当項目「衛生管理区域専用衣服着脱前後の交差汚染防止」及び「飲水の消毒」に対処するためのハード整備を行い家畜伝染病の防疫体制整備を図ることで、新基準を順守した飼養管理を継続し、種雄牛の安全確保及び凍結精液供給による飛驒牛振興を継続する。

### (2) 事業内容

#### ①更衣室の改修工事

- ・衛生管理区域専用衣服の着脱前後の交差汚染防止のため、更衣前後の動線を一方通行とするための改修工事を行う。

## ②塩素消毒設備設置工事

- ・安全な家畜用飲水を確保するため、沢水を塩素消毒する設備を設置する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳（令和4年度）

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	7,106	更衣室の改修工事、塩素消毒設備設置工事
合計	7,106	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

「県民に対する安全・安心・健康な畜産物の提供と県内畜産ブランド製品の振興」を最重点課題として位置付けている。

- ・ぎふ農業・農村基本計画（令和3～7年度）
- ・畜産研究所 研究基本計画（令和3～7年度）

### (2) 国・他県の状況

- ・家畜伝染病予防法、家畜飼養衛生管理基準（R2.10月～）
- ・全国ブランドの種雄牛を飼育している兵庫県や宮崎県、鹿児島県、青森県では、職員等の着替えのために専用のシャワー更衣棟を設置し、職員等からの病原体の持込みを防ぐ対応を実施している。

### (3) 後年度の財政負担

塩素消毒設備設に係る薬剤購入費や、故障したときの修繕料が必要となる。

### (4) 事業主体及びその妥当性

県内で利用される和牛凍結精液の98.6%（H29年次）が県有種雄牛の凍結精液であり、県有種雄牛及び県有種雄牛を生産するために必要な雌牛集団を病原体から守ることは非常に重要である。

# 事業評価調査書

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### (事業目標)

畜産研究所飛騨牛研究部の防疫体制の機能整備を実施する。  
更衣室を改修することで、更衣の前後に利用する経路を一方通行とし衛生管理区域内に職員等が病原体を持ち込まないよう対策する。  
また、安全な家畜用飲水を確保するため、沢水の塩素消毒設備を設置する。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
						%
工事完了				1	1	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

--

### (これまでの取組内容と成果)

令和2年度	
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)</p> <p>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価)	

### (今後の課題)

<p>施設整備といったハード面に加えて、飼養衛生管理基準の順守などソフト面の実施も必要である。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>畜産研究所における防疫体制の整備は、種雄牛の安全確保及び凍結精液供給による飛騨牛振興に必要不可欠であることから、着実に事業を進める。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	